

## 平成15年度事業計画

昨年診療報酬の改定が、これからの作業療法士にとって、専門性の確立（EBM）や専門職としての質を向上させることが要求されてきます。このためには、臨床、教育など各々の立場で、我々がやっている作業療法のあり方について再点検し、これからも医療、保健および福祉の分野で、貢献できる職種として生き残るために何ができるのか、一人ひとりの作業療法士が考え行動することが必要です。現在、会員が1000人を超え、組織の改定が必要になってきました。今回の改定では事務局に、総務、渉外、調査部、財務を包括して、業務が円滑化するようにしました。保険委員会が保険部として創設されます。また10年間特設委員会として続いてきた地域リハビリテーション推進委員会を発展的に解消し、今まで地域リハビリテーション推進委員会が担ってきた勉強会や地域リハ活動などを各部に振り分け、幅広い視点での活動を展開していく予定です。ただ、地域リハビリテーション担当理事を置いて、各部の活動だけでは拾いきれない課題についての対応窓口として新設いたします。その他各部に理事以外の部長を置いて、理事は士会全体の動きを客観的に判断できるように機能分化を進めていきたいと考えます。

年々支部活動も活発化しており、支部それぞれに会則を設けて、活動を円滑化しているようです。札幌支部も昨年、区単位の勉強会と懇親会を行い、組織化に向けて動き始めていますので、この動きを支部活動委員会のもとに支援していきたいと思えます。

今後も1人でも多くの会員が士会活動へ参加し、北海道における作業療法の総体的な質の向上のために、活動を活発化することが会員の利益にもつながるだろうと考えます。

1. 北海道の作業療法士の質の向上：新人教育研修に加えて、臨床における中堅およびリーダーとなる人材の育成：専門性にシフトした研修会の計画
2. 北海道作業療法士会事務所の検討：難病連ビルに事務所(6畳)を無償で賃貸契約を結んだのでその利用方法や将来に向けての、士会事務所としての使用についての検討。
3. 組織改定：理事会組織を改定し、各部に部長制度の新設と役割の強化。
4. 定款の改定：次年度に向けて定款の改定作業に着手。
5. 士会活動における情報のあり方に関する検討：広報部、情報システム整備委員会に互換性をもたせて、将来に向けてその活動の整合性や互換性を検討する。会員の情報源としてはもとより広報活動としてのホームページの活用など。
6. 公的活動の推進：地域リハビリテーション協議会への参加、各種、公的事業への参加（作業療法相談、住宅改修事業等）、公開講座など。
7. 長期10カ年計画の評価と再検討。

### 事務局

#### 総務部

1. 会議運営  
平成16年度定期総会の開催、理事会開催（年7回）、三役会開催（年12回）
2. 定期刊行物の発送及び保管
3. 公文書接受・発行
4. 難病連事務所の使用、管理
5. 定款見直しの作業

#### 調査部

1. 会員基本データ管理システムの運営
2. ホームページの管理・運営
3. OT協会会員管理システム(WAN)の管理・運営
4. その他  
都道府県作業療法士会連絡協議会への道士会情報提供  
他部局会員情報提供

#### 渉外部

1. 他団体及び日本OT協会との関連  
儀礼、新年交礼会出席  
都道府県士会長会議の出席  
当事者団体後援協力

## 財務部

1. 平成15年度予算執行の管理
2. 平成15年度中間決算・補正予算の作成
3. 平成15年度決算書の作成
4. 平成16年度予算案の作成
5. 会費の徴収

## 学術部

1. 編集・発行  
北海道作業療法20巻1号編集・発行  
北海道作業療法20巻2号編集・発行  
北海道作業療法20巻特別号（抄録集）発行  
北海道作業療法21巻1号編集
2. 効果研究プロジェクトの設置
3. 学術奨励賞選考（札幌学会）
4. 学術情報の提供  
OT士会所有書籍・ビデオ等リスト  
研究助成リスト  
学会誌「北海道作業療法」の電子配信
5. 学術奨励システムの検討

## 教育部

1. 講習会  
第1回（4/26総会時）「支援費制度について」（仮題）  
第2回（7月札幌）：老年期の作業療法  
第3回（8月旭川）：SIG「スイッチ講習会」「認知運動療法」（仮題）  
第4回（9月札幌）：「精神科の作業療法」「発達障害の作業療法」（仮題）  
第5回（10月旭川）：「老人のためのコミュニケーションワークショップ」  
第6回（12月未定）：「脳卒中の作業療法」（仮題）  
第7回（1月札幌）：PTOT合同研修会  
第8回（3月札幌）：「保健医療福祉領域」（仮題）
2. 新人研修会  
第1回（6月札幌）：「協会・道士会の歴史・組織」「人間関係論」「倫理綱領」「症例研究」  
第1回（8月函館）：「協会・道士会の歴史・組織」「人間関係論」「倫理綱領」「症例研究」  
第2回（7月札幌）：「福祉関連機器・用具」「新規情報」「新規情報」「新規情報」「地域医療福祉」  
「人間関係論」  
第2回（10月釧路）：「福祉関連機器・用具」「新規情報」「新規情報」「新規情報」  
「地域医療福祉」「人間関係論」  
第3回（9月札幌）：「関係法規」「新規情報」「新規情報」「新規情報」  
「科学・その性格と研究方法」「症例研究」「症例研究」「症例研究」  
第3回（12月北見）：「関係法規」「新規情報」「新規情報」「新規情報」  
「科学・その性格と研究方法」「症例研究」「症例研究」「症例研究」  
第4回（11月札幌）：「作業療法の対象領域」「世界におけるOTの動向」「日本におけるOTの動向」  
「臨床実習教育指導」  
第4回（1月旭川）：「作業療法の対象領域」「世界におけるOTの動向」「日本におけるOTの動向」

## 「臨床実習教育指導」

第5回(2月札幌・函館):「症例研究」「症例研究」

第6回(3月釧路・旭川):「症例研究」「症例研究」「症例研究」

### 福利部

1. 新卒者の就職状況把握
2. 新卒者への士会入会勧誘の実施
3. 新入会員歓迎会
4. 人材・病院情報誌作成
5. 就労実態調査アンケート
6. ホームページによる会員相談コーナーの運用
7. 平成16年新年交礼会の運営
8. 団体保険管理・運営

### 広報部

1. 道士会ニュースの発行(隔月)
2. ニュース編集班の複数化
3. ニュース編集マニュアルの作成
4. サテライト活動の推進
5. 道士会ホームページの充実
6. メディア活用による広報活動の検討

### 事業部

1. 道庁パネル展出展
2. 作業療法推進月間「高校生一日体験」の実施
3. 地域住民啓蒙活動「市民公開講座 作業療法フォーラム」の実施
4. 委託事業の検討・協力

### 保険部

1. 診療報酬・介護保険関連の情報収集活動  
介護保険関連の情報収集  
委員会ネットワークによる情報集積  
保険関連調査(福利部との連携)
2. 会員への広報活動  
ホームページ上での情報開示  
研修会報告  
ニュース掲載、号外

### 学会評議委員会

1. 平成15年度 第34回札幌学会の支援
2. 平成16年度 第35回学会準備の支援
3. 平成17年度 第36回学会長の決定
4. 学会担当支部への支援方法の検討
5. 「学会運営の手引き」の見直し修正
6. 学会参加会員の動向調査

## 支部連絡協議会

1. 拡大理事会及び支部長連絡会議（11/8・9）の開催・運営
2. 支部組織及び規約作成への援助
3. 各支部の年度活動計画や、組織・活動状況の集約と調整
4. 支部連絡協議会の設立
5. 他部・委員会との共同事業
6. 地域リハ広域センターに関する情報の把握・調整